

えんばわ

69
号

Empowerment For All
エフアジヤパン

特集

「自分もたちの
子どもたちの
ラオス・カンボジア
がたり」





ラオスとカンボジアのお正月は4月。お正月が終わると、雨季に入り、田植えのシーズン到来。そして、ラオスの小学校は9月に新学期を迎えます。今号では、子どもたちの1年、そして1日の時間の流れをご紹介します。日本との違いをお楽しみください。

Vol.69 CONTENTS

03	「子どもたちの 自分ものがたり」 特集	子どもたちの1年
05		ラオスの子どもの1日
07		カンボジアの子どもの1日
09		子どもたちが描く自分ものがたり
11		サバイディー(ラオ語で「こんにちは」)
12	アジアまちかどライブラリー —ラオス—	
13	ムペアック(クメール語で「仲間」)	
14	コーヒーブレイク	

今号の表紙

カンボジア・プレアヴィシア州、小学校がない村で行っている
ノンフォーマル教育(寺子屋教室)に通う子どもたち。
(目次写真 同国・カンボット州の日常風景)



子どもたちの1年

カンボジア 2023年 小学校のカレンダー／祝日・記念日 ラオス

1日：インターナショナル新年 7日：虐殺からの解放記念日	新学期	1	中間テスト (前期終了)	1日：インターナショナル新年
旧暦3月の満月： ミアックボーチャ祭(万仏節)		2	後期スタート	
8日：国際女性の日	母の日(8日)	3	母の日(8日)	8日：国際女性の日
13～16日のいずれか：カンボジア正月 ※女神が降臨する日時が毎年異なる	夏休み	4	正月休み	13～16日のいずれか：ラオス正月 ※太陰暦の正月による
4日：ピサックボーチャー祭(仏誕節) 8日：王室始耕祭 14日：シハモニ国王誕生日	夏休み	5	期末テスト	1日：国際労働者の日
1日：子どもの日 18日：モニク前王妃誕生日		6	夏休み	1日：子どもの日
	中間テスト	7	夏休み	旧暦8月の十六夜：カオパンサー (入安居)
		8	夏休み	旧暦9月の満月：米作り祭り
8日：国際識字デー 24日：憲法記念日		9	新学期	旧暦10月の満月：先祖の日
5日：教師の日 13～15日：ブチュンバン(お盆) 15日：ノロドムシハヌーク前国王記念日(命日)		10		7日：教師の日/旧暦11月の満月： オークパンサー(雨安居明け)
9日：独立記念日 満月の前後3日間：ボン・オム・トック(水祭り)	期末テスト	11		旧暦12月の満月：タートルアン祭
10日：世界人権の日		12		2日：建国記念日



カンボジアの王宮

ラオス、カンボジア共に特有の祝日や記念日が存在します。学校の1年間の予定も、日本とは大きく異なります。特にラオスは、太陰暦が今でも生活の中で活用され、月の満ち欠けによりその年の記念日が変わってきます。あまり知る機会のない両国の子どもたちの1年を、カレンダーをもとに見てみましょう。

ラオス

小学校の新学期は9月です。1月1日はインターナショナル新年として祝日になっていますが、ラオスのお正月は4月中旬。子どもたちの(大人たちも)1年で一番楽しみな期間です。その後、期末テストが待っているのがちょっと大変ですが、テストが終われば夏休みです。日本よりもずいぶん長い夏休みですが、家の手伝いや、友だちと遊んで過ごします。義務教育は小学校(初等教育)の5年間。全国的に、初等教育から大学まで制服を着用するのがラオスの学校の特徴です。

カンボジア

王国でもあるカンボジアは、王宮の行事や王族の誕生日などが祝日になっているのが特徴です。

新型コロナウイルスの影響で休校が続いたことから、2023年から新学期が9月から1月に変更され、子どもたちは少し混乱しているところかも知れません。義務教育は小・中学校の9年間。平和となった今でも、内戦の影響は続いており、教師、教室の不足から、午前と午後の交代制で授業が行われています。空いた時間に塾へ通う生徒もいる一方で、貧困から学校へ通うことが困難になり、義務教育を終えることのできない子どもたちも多く存在する現状があります。社会の不安定は、教育にも大きな影響を及ぼしています。



制服の子どもたち(ラオス)



ポータヴァン・コーウンパセートくん
タートン村小学校5年生 10歳

ポータヴァンくんの暮らすタートン村は、ビエンチャン都シコタヴォン郡に位置し、首都から約15kmの距離にあります。住民は791世帯、3,986人(内、女性1,884人)、約20%は米農家、50%が工場員や小売業、残り30%が公務員(教員、警察官、兵隊を含む)として生計を立てています。

休みの日の過ごし方

「週末は、掃除、洗濯など家の手伝いをしたり、テコンドーを習いに行っています。家の手伝いが終わると、近所の友だちとサッカーをするのがぼくのお気に入りの時間です。」

たまに友だちとメコン川に行き、魚釣りをします。釣った魚は家の食卓に上ります。好きな食べ物、鳥肉の足の揚げ物や果物です。野菜と辛い食べ物嫌いです」



サッカーを楽しむ

学校がある日の過ごし方

「ぼくの家は、両親(40歳)と、姉(14歳)、兄(12歳)、ぼくの5人暮らしです。父は公務員です。小さい家ですが、家族みんなで楽しく過ごしています。」

学校がある日は、朝6時に起きて、水浴びをしてから、朝ご飯を食べて、学校へ行きます。授業は8時から始まり、好きな科目は、算数と国語です。休み時間には、図書室で本を読みます。お昼ご飯は家に帰って食べます。学校が終わるのは午後3時です」

「学校が終わると、友だちと遊びます。ぼくはスポーツが好きです。また、森に行つて取つてきた木のおもちゃを作つたり、タマリンドのタネを投げて穴に入れる遊びや、凧揚げ、鬼ごっこなどラオスの伝統的なゲームをして遊ぶこともあります。」

友だちと遊んだ後は、夕方の水浴びをして、家の手伝いをします。晩ご飯は午後7時頃です。それからテレビを見て、宿題を済ませて、夜9時に眠ります」



家族と一緒に

将来の夢

「運転手になりたいです。トラックやダンプカーとか、大きな車を運転できるようにになりたいです」

タートン村では、新型コロナウイルス感染症発生後、すべての工場が閉鎖され、職を失う人々が続出しました。ロックダウン期間中は、農作業以外の仕事ができない状況となり、収入が得られないため、多くの住民が経済的に困窮していますが、政府による食料などの支援は行われていません。職を失った人は、地元農家の手伝いをして食料をもらうなどしながら、困窮の中での生活を余儀なくされています。コロナの影響だけではなく、根源的な貧困を失くす必要があります。

サッカーが好きで、テコンドーを習っているポータヴァンくん。そして、図書室で本を読むことが好きなポータヴァンくん。

たくさん本を読み、夢を描き、友だちと遊び、家族と過ごす中で、ポータヴァンくんの「自分ものがたり」は育まれています。



デイン・ポリーさん
トラビャング・トメス小学校4年生 10歳

家庭のこと

「私の家は4人家族です。父(36歳)と母(35歳)、ブンラニー・トング高校(1年生)へ通う15歳の兄がいます。家は農家で、牛と豚を飼っています。休日には、牛を歩かせたり、豚の世話をしています。洗濯をするのも、休日の日課のひとつです。魚釣りに行くこともあります。そしてなにより、友だちと遊ぶことが休日の楽しみです」

学校のこと・勉強のこと

3頁特集①でもお伝えした通り、カンボジアでは2部交代制での授業が行われています。ポリーさんは午前の方に通っています。

「学校は、朝7時にはじまって、11時まで授業があります。お昼には家に帰ってご飯をたべます。午後からは『チルドレン・スタディ・クラブ』で勉強しています。好きな科目は国語です。学校では図書室が大好きです」

チルドレン・スタディ・クラブは、エファが行っている支援活動のひとつです(詳しくは次頁で紹介します)。

「クラブが終わると、家に帰って、水浴びをして、午後6時頃には晩ご飯の時間です。揚げた魚や鶏肉などお肉が好きです。晩ご飯のあとは明日の支度をしておいて、夜8時におやすみさせていただきます」



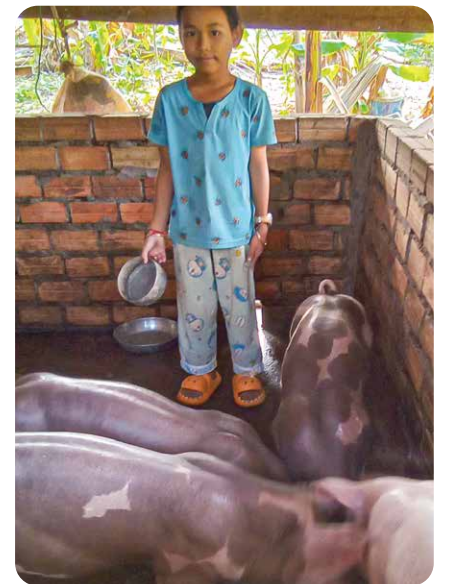
家族と食事中

伝統的な遊び

「友だちとは外で遊んだり、『ベイコム』というカンボジアの伝統的な遊びをしています。地面に穴を掘って、自然の石や木の実の駒を取り合って遊ぶゲームです」



ベイコムをして遊ぶ子供たち



家畜の世話をするポリーさん

ポリーさんが住むカンポット州ドントン郡は、人口56,025人(14,205世帯)。首都プノンペンからは150km、車で約3時間の距離にあります。カンポット州はカンボジアの中でも内戦の傷跡を深く残す土地です。1973年にアメリカ軍がベトナム戦争から撤退した後、ボル・ポトが率いるクメールルージュの支配下にあったカンポット州では、全域で破壊と大量殺人が起こり、90,450人が虐殺された記録があります。

政府軍と、山脈地帯に身を潜めたボル・ポト兵の残党の戦闘は1998年まで続き、現在も戦争の負の遺産である地雷により、一般市民が被害を受けています。

将来の夢

「中学校の先生になりたいです。私は障害があるので学校で大変なこともあります。ですから私は、障害がある子どもが苦労してほしくないのです」

ポリーさんは知的障害があります。カンボジアでは障害がある人々のための支援や施設はほとんど整備されていません。そうした環境の中で、ポリーさんは、学校へ通い、チルドレン・スタディ・クラブで学び、将来の夢、「ポリーさんの自分ものがたり」を描いています。



子どもたちが描く 自分ものがたり

真っ白い人生のキャンパスに、誰に強制されるでもなく、自分自身の力で自分の人生の地図を描いてもらいたいとエフアは願っています。子どもたち一人ひとりが可能性と創造性を発揮し、自分ものがたりを描ける社会の実現を、エフアは目指し、活動しています。

カンボジアでの活動

障害がある子どもたちが放課後に集い、学び、遊ぶことができる「チルドレン・スタディ・クラブ」を3つの村で運営しています。クラブでは学校で習う国語、算数などの補習授業を行うだけではなく、子どもの人権の学習や、収入向上のための農業トレーニングなどを提供しています。

カンボジアの子ども1日で登場いただいたデイン・ポリーさんの自分ものがたり

知的障害があるデイン・

ポリーさんは、学校の授業についていけず成績がよくありませんでした。「あの子はモノを覚えるのが遅いよね」と、同級生にからかわれていたそうです。

「チルドレン・スタディ・クラブに来るまでは、字も書けませんでした。計算も苦手でした。でもクラブでは、わかるまで何度も、何度も教えてくれました。時間をかければ覚えることができました。少しずつ自信を持てるようになりました」とポリーさんは話してくれました。

クラブに通うようになってからは、学校にも楽しそうに通うようになりました。その姿を見て喜んだのは両親です。農業を営む両親は、ポリーさんと同じくらいの年のころ、カンボジアは内戦の真っただ中。戦争の影響で学校に通うことができなかつたため、日常生活で文字の読み書きに苦労していました。

もたちをサポートしたいと考えています。ポリーさんは確実に「自分ものがたり」を描いています。

ラオスでの活動

エフアはこれまでビエンチャン都立図書館の運営支援や、小学校での図書館建設、学校図書館・図書室支援を行ってきました。2023年4月より障害がある子どもたちが多く通う小学校2校を対象に読書推進を中心とした教育支援事業を実施します。

ケオナコン・マングカラくん(11歳、自閉症)の自分ものがたり

「僕は自閉症なので、長い時間、ものごとを覚えることができません。でも図書室ができたら、絵がたくさん描かれている絵本や漫画から読みたいと思っています。将来は警察官になります！」



チルドレン・スタディ・クラブ

ある日、ポリーさんは両親に一枚の紙を手渡ししました。そこに書かれていたのは両親の名前でした。障害がある娘が親にとっても難しい文字を学び、父と母の名前を書いてくれた。その文字を見ながら、両親は涙を流したそうです。

自分にあつた教材と勉強の仕方をクラブで学んだことで、ポリーさんの成績は急上昇！なんと学期末の試験でクラス1位、点数もダントツトップとなりました。子どもたちが「小さな成功体験」を積むことは、自信につながります。そして、家族や地域にも希望をもたらします。

クラブに通うようになり2年が経ちました。ポリーさんは中学校の先生になって、自分と同じような悩みを抱える子ども



ケオナコン・マングカラくん



クラブで勉強するポリーさん(左から2人目)



アジア ラオス ライブラリ

悲ちかど

ピー・マイ・ラオ

毎年4月13〜16日のいずれかがピー・マイ・ラオ（ラオスのお正月）となります。ラオスのカレンダーは太陰暦をベースとしているため、現在の太陽暦カレンダーでは毎年お正月の日が変わります。

お正月になると、人々はお寺に行き、儀式に参列し、また亡くなった親族のために仏塔を掃除し、仏像に水をかけます。正月期間中は「水かけ祭り」が行われ、人々はお互いの健康を祈りながら水をかけ合います。4月はラオスで最も暑い月で、気温40℃まで上がり、水をかけられると気持ちがいいです。

それぞれの家庭では伝統儀式パーシーが行われ、私の家でも親族が集まり、幸福や繁栄を祈りました。もちろんその後は、みんなで食事を楽しみました。お正月のビールは格別においしかったです。
（エファラオス事務所ソンパン・パンナニシット）



サバイディー
ラオ語で「こんにちは」

エファパートナーを募集しています！

「自分ものがたりを描いていくことのできる社会」を目指して。

長 きにわたり戦禍の中におかれ、終戦後も極度の飢餓と貧困に苦しむベトナム、カンボジア、ラオスの人々の姿を私たちエファは19年にわたり見つめてきました。その爪痕は、人々の心と大地に残り、特に自ら声を上げることが難しい子どもたち、とりわけ障害がある人たちに暗い影を落とし続けています。日本でも障害がある人たちは、いまだ様々な壁に立ち向かわなければなりません。エファが寄り添いを続けてきた国々では、社会から忘れられた存在として扱われているのが現実です。貧しさの中にあっても、障害があっても、情報や知識を得て、自分の力で生き抜く術を身に付け、自分ものがたりを描いていくことのできる社会」をアジアで、そして日本でも実現していきたいと願います。月々1,000円、一日あたり約35円から「本の飢餓」撲滅に向けた取り組みを応援いただくマンスリーサポーター制度、「エファパートナー」が新たにスタートします（詳しくは最終面をご覧ください）。私たちと一緒にこの世界を本の力で変えていきましょう。

（事務局長 関尚士）





入管法改正が話題になっています。難民認定申請中は強制送還
が停止される現行規定を改め、3回目以降の申請者は送還の対象に
する内容が国際法上の「ノン・ルフールマン(送還停止)原則」違反だ
との批判は大きいです。

入管法や関係判例をあらためて紐解くと、改正の論点だけでなく
在留外国人の滞在期間や活動内容にはかなり厳しい制限があるこ
とがわかります。もちろんすべての希望者を無制限に受け入れるの
は現実的ではありませんが、人口が急激に減少する日本にとって海
外人材がますます不可欠になるのも事実です。

さて、新年度が始まりました。エファとしてもアジアの「本の飢餓」
撲滅に加え、今後は外国にルーツをもつ国内の子どもの支援も始め
ていく方針です。

日本の在留制度で子どもたちがどういう状況に置かれているの
か。政府や自治体の外国人共生のあり方に問題はないのか。そう
いった視点でも取り組んでいきます。ご意見をお寄せください。

理事 学頭貴子
日本経済新聞社 編集 金融・市場ユニット記者



2023年3月に実施したクラウドファンディング
本の飢餓から子どもたちを守りたい。
ラオス障害児にバリアフリー図書を

1,063,500円
のご支援をいただきました。

ムベアック

クメール語で「仲間」

エファをご支援
いただいている方々を
ご紹介します。

113人もの
ムベアック(仲間)に
感謝いたします

ラオスと同様、日本社会にも
多くの障害が存在し、私たちも
いつ情報にアクセスしづら
くなるか、「自分ものがたり」を描
けなくなるか、わかりません。
社会の障害をなくしていくこ
とは決して簡単なことではあり
ませんが、皆さまと手をとりあ
うことで、ちょっとずつでもいい方
向に変えられると信じています。
支援してくださった皆さま
のおかげで、改めてそう強く信
じられます。本の力で世界を変
えていく仲間になっていただ
き、今一度感謝申し上げます。
このクラウドファンディング
への参加が、皆さまのかけがえ
のない「自分ものがたり」の一
部分になることを祈っています。

高橋あゆみ
(ファンドレイジング担当)

感謝の意を込めまして、
ここにご芳名を
掲載いたします。

喜多村 良夫 様
塚本 静一 様
福田 勝樹 様
渡辺 恵司 様

Thank You

※クラウドファンディングメニュー
ご対象の方のみ掲載しています。

子どもたちの命を削る 『本の飢餓』をなくしたい

2023.4

新たな
「エファパートナー」
制度が始まります



エファパートナーとは月々1,000円からの支援で、エファが取り組む「本の飢餓」の撲滅に向けた活動を応援いただくマンスリーサポーター制度です。寄付金は、その時々にも最も必要な事業・活動へ使わせていただきます。

パートナーの皆さまには、エファが目指すビジョン、「すべての子どもたちが可能性と創造性を発揮し、『自分ものがたり』を描ける社会」の実現に向け、子どもたちの成長や社会の変化を共に見守っていただき、また、皆さまご自身の「自分ものがたり」も描いていただくことを目指していきたくと思います。

私たちと一緒に、この世界を「本の力」で変えていきませんか。

お申込み・詳細は特設サイトをご覧ください

エファパートナー

検索

<https://www.efa-japan.org/partner/>



えんばわ 通巻69号(2023・6・夏)
2023年6月15日発行

発行人：伊藤道雄

編集協力：(株)MAG MAG、蒔田清二

発行所：特定非営利活動法人エファジャパン

〒102-0074 東京都千代田区九段南3-2-2 九段宝生ビル3階

TEL:03-3263-0337 FAX:03-3263-0338 Email:info@efa-japan.org

<https://www.efa-japan.org/>

※エファジャパンは、全国の地方公共サービスに携わる人たちが応援する、国際協力NGOです。アジアの子どもたちへの教育文化支援・福祉支援を行っています。

※認定NPO法人であるエファジャパンへのご寄付は、税制優遇の対象です。